

研究室名	食品分析学研究室（兼）先端機器分析センター 学会発表
------	-----------------------------------

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

発表時期	2019年
学会名	第67回 質量分析総合討論会
演題名	イチゴ果実のイメージング質量分析のためのDIUTHAMEへのプロットング手法の開発
発表者	○榎元 廣文 ^{1,2,3} 、小谷 政弘 ⁴ 、大村 孝幸 ⁴ <small>1帝京大・理工・バイオ、2帝京大院・総合理工、3帝京大・先端機器分析センター、4浜松ホトニクス（株）</small>
内容	<p>本発表では、イチゴ果実を試料として、イメージング質量分析用のイオン化補助基板、Desorption Ionization Using Through Hole Almina membrane (DIUTHAME、浜松ホトニクス社製)の新規プロットング基板としての利用を検討した。その結果、イチゴ試料の切断手法、ならびにプロットング基板として最適な厚さを決めることが出来た。また、1つのプロットング試料から、ポジティブモードおよびネガティブモードの二つの測定データを得る手法を構築することができた。ポジティブモードおよびネガティブモードにおいて、糖類、有機酸類、およびポリフェノール類の特徴的な分布が可視化できた。本研究で、イチゴの解析のためのDIUTHAMEのプロットング基板として利用手法が構築できた。今後、様々な試料での検討を進める予定である。</p>
内容	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>学会に同行した、アトマジヤヤ大学からの交換留学生、フェリーさん</p> </div> </div>